

松崎議員 県教育委員会
における障害者雇用について伺う。
県教育委員会では、障害者雇用推進事業の一環として、障害のある方がその能力を十分に発揮し、安心して働き続けられる職場環境の整備に向け、様々な取り組みを行っているものと認識している。
令和2年度から開設された、事務補助業務を中心に行うパートナーズオフィスについては、障害のある職員が能力を発揮しやすい環境を整えながら、段階的に

6月県議会一般質問



県の施策を質問する松崎太洋県議

松崎太洋県議（柏市選出、2期）は6月定例県議会で登壇し、県の施策について、熊谷知事ら県執行部に質問しました。保護司に委嘱されるなど、福祉の充実に力を注ぐ松崎県議は、県教育委員会による障害者雇用の取り組みを聞き、更なる雇用拡大を要望しました。また、入所率低下が続いている養護老人ホームについて、入所率向上に向けた県の取り組みを質問しました。松崎議員の質疑と県執行部の答弁を紹介します

県教委の「パートナーズオフィス」

障害者雇用の拡充へ

新たに2校で開設

クリーンメイトセンター 障害者の積極採用を

松崎議員 県教育委員会の委員会の取り組みとして、クリーンメイトセンターについて伺う。
クリーンメイトセンターも障害者雇用促進事業の一環として令和2年度から実施されており、県立学校等を拠点として域内の県立学校等を巡回し、清掃業務や環境整備業務、教職員の補助業務を行っている。
学校と障害のある職員の双方にとって大変意義のある取り組みであると認識しているが、一方で、これまで雇用の拡大が図られてきているものの、各センターにおいて必要な人員が、十分に確保されているかについては、本事業をさらに推進していく観点からも、改めて確認する必要があると感じている。
そこで伺うが、クリーンメイトセンターの定員充足率の状況はどうか。また今後、充足に向けてどのように取り組んでいくのか。
教育長 県内22カ所のクリーンメイトセンターでは、令和8年6月1日現在、定員154名に対して、122名を雇用しており、充足率は79.2%となっています。県教育委員会では、さらなる雇用に向けて、特別支援学校のほか、障害者就業・生活支援センター等の関係機関に随時募集情報を提供しており、希望される方には就労に向け、見学や実習の機会を設けています。
今後、関係機関と連携しながら、積極的な採用に取り組むとともに、障害のある職員が安心して業務に従事し、定着できるよう、きめ細かに対応してまいります。

拡充が図られてきていると伺っている。
こうした取り組みは、障害者雇用の拡大に向けた重要な施策であり、その進捗状況を把握することは大変重要。
そこで伺うが、パートナーズオフィスの取組状況はどうか。
教育長 パートナーズオフィスは、障害のある方の積極的な雇用を目的として開設し、職員は、教育庁のデータ入力や文書のPDF化などを担う集約型オフィスや、県立学校等において、事務室等における事務補助業務を行う巡回型オフィスで活躍しています。
令和2年度以降、教育庁内に集約型オフィスを2箇所設置するとともに、船橋豊富高校及び市原高校内に巡回型オフィスを開設するなど、段階的に拡充を図ってきました。
今年度は、新たに湖北特別支援学校と成田西陵高校内への巡回型オフィスの開設に向けて、職員採用などの準備を進めているところです。

●県政や柏市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

松崎たかひろ 県議事務所

〒277-0005 柏市柏3-7-21 椎名ビル605号 TEL.04(7168)0966

要望
松崎議員 パートナーズオフィスについては、障害のある職員のさらなる雇用拡大に向けて取り組んでほしい。
クリーンメイトセンターについても関係機関としっかり連携を図って、積極的な採用に努めるなど取組を進めてほしい。

都市軸道路工事、着々と

県北西部の渋滞緩和に期待

このうち、昨年度事業化した利根川渡河橋については、これまで取付部の測量や地質調査等を進めてきたところであり、今年度は渡河部の測量や橋梁の詳細設計を実施してまいります。

また、国道16号との立体交差部については、アンダーパス部と併せて側道部の工事を進め、今年度末までに側道部を先行して供用することにより、県道我孫子関

松崎議員 埼玉県三郷市の東京外かく環状道路と、茨城県つくば市の国道354号を結ぶ全長30^{キロメートル}の広域幹線道路である都市軸道路の進捗状況はどうか。

県土整備部長 都市軸道路は、埼玉県・千葉県・茨城県を結び、県北西部における深刻な渋滞の緩和を図るとともに、地域間の交流・連携の強化や経済の活性化などが期待される重要な道路です。

松崎議員 埼玉県三郷市の東京外かく環状道路と、茨城県つくば市の国道354号を結ぶ全長30^{キロメートル}の広域幹線道路である都市軸道路の進捗状況はどうか。

県土整備部長 都市軸道路は、埼玉県・千葉県・茨城県を結び、県北西部における深刻な渋滞の緩和を図るとともに、地域間の交流・連携の強化や経済の活性化などが期待される重要な道路です。

松崎議員 養護老人ホームは高齢者のセーフティネットとして、重要な役割を担っているものと認識している。

一方で、県内の養護老人ホームの施設数は、コロナ前の令和元年は22施設だったところ、施設の老朽化などに

より、直近では19施設まで減少している。また、入所率も令和8年4月現在で74・9%と、令和元年4月の85・

3%から比べると10ポイント以上低下している。養護老人ホームという貴重な社会資源を、もっと積

県内の養護老人ホーム 施設数減少、入所率も低下

極的に活用してほしいと考えている。

そこで何うが、養護老人ホームの入所率向上に向けて、県ではどのように取り組んでいるのか。

健康福祉部長 養護老人ホームは、社会的孤立や低所得、虐待など、介護以外の生活課題を抱え、自立した生活が困難な高齢者を、市町村の措置により受け入れて支援する重要な施設ですが、近年は入所率が低下傾向にあり、県は昨年度現場の実情や課題を把握するため、施設関係者と意見交換を行いました。

その際、施設関係者から、市町村によって養護老人ホームへの措置入所の実施状況に差があるとの意見があったことから、市町村とも



県執行部の答弁を聞く松崎議員

意見交換を行い、状況を確認するとともに、施設の果たす役割等について周知を図ったところです。

また、一部市町村からの

「措置入所の制度が複雑で事務処理に時間を要する」との意見を踏まえ、本年1月には、入所判定や費用徴収などの手順を定めたマニ

警察署 刑法犯の認知県内最多 交通事故、110番受理件数も

松崎議員 昨今、全国のあらゆる地域において、地域住民の体感治安の悪化につながる匿名・流動型犯罪グループ、いわゆる「トクリュウ」による強盗などの凶悪事件が発生している。

こうした厳しい治安情勢において、県民が心の拠り所として頼れるのが警察官だと考えている。

そこで何うが、柏警察署

の警察力を強化する取組はどうか。

警察本部長 柏警察署については、令和7年中の管内の刑法犯認知件数、交通事故発生件数、110番受理件数が県内最多であり、これまでも、治安情勢に

令和7年には、警察官を現場活動等に注力させることなどを目的とした特殊詐欺対策支援員の配置や音声応答装置の運用を開始し、本年もこれらを継続するなど、複合的な取組により、警察力の強化を図っております。

引き続き、県下の治安情勢等を踏まえながら、警察官の現場活動を強化するための取組を推進してまいり

柏市に2つ目の警察署を

松崎議員 柏市に警察署をもう1署新設すべきと考えるかどうか。

警察本部長 警察署の新設については、管内地域の面積、人口、治安情勢のほか、業務運営の効率性等も踏まえ、総合的に判断しているところであり、新設のために必要な署員をいかに確保するかという問題や、現下の厳しい財政状況等も考慮すると、現状において

警察署を新設することについては、困難と考えております。県警では、地域の安全・安心を確保するため、管内の治安情勢の変化等を踏まえ、警察官の配置の見直し、あるいは県本部による支援のほか、自治体や関係機関との連携も含め、警察署の業務運営や地域の治安維持に支障が生じることのないよう、引き続き、取り組んでまいります。

松崎議員 県内トップクラスの刑法犯認知件数である柏警察署

管内の安全・安心のため、引き続き、体制の見直しや各種治安対策に取り組んでいただきたい。

総合競技場の改修進む

柏の葉公園は、令和6年度に陸上競技用トラックの改修が完了し、来年度にかけて、外壁補修工事や空調設備の更新を予定しています。

今後も、利用者が快適に利用できるよう、計画的な施設改修に努めてまいります。

松崎議員 県立柏の葉公園総合競技場の改修については、千葉県公園施設長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの低減や事業費の平準化を図りながら、より長期に安全利用できるよう、計画的に工事を進めているところです。

都市整備局長 県立都市公園施設の改修については、千葉県公園施設長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの低減や事業費の平準化を図りながら、より長期に安全利用できるよう、計画的に工事を進めているところです。

ユアルを、よりわかりやすく解説する内容に改訂し、説明会を行ったところであり、今後も施設と市町村の双方と対話を重ねながら、施設の適切な活用に取り組んでまいります。

松崎議員 養護老人ホームのない市町村も含め、施設を知っていただくよう県として支援していただくよう要望する。